



もしもの時は

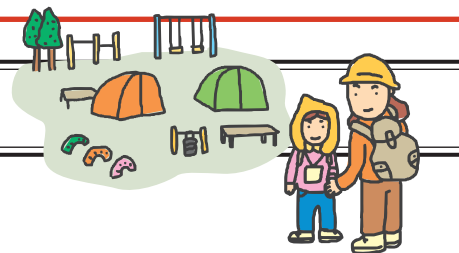
令和3年2月1日より、内線番号が3ケタから4ケタへ変更となります。市民の皆さまへはお手数をおかけしますが、改めてお問い合わせをお願いいたします。

消防・救急



もしもの時は

消防車や救急車は、場所が伝わらなければ出動できません。
まずは落ち着いて、通報はあわてず正確に伝えることを心掛けましょう。



火事するとき

ポイント

住所が分からないときは、建物、バス停など目標物を伝えてください。



救急するとき

ポイント

マンションやビルの場合、名称と〇階の〇号室まで伝えてください



●火事・救急は…



119番

●警察は…



110番



AED

自動体外式除細動器
の使い方



- ①すぐにAEDの電源を入れ、音声メッセージと点滅するランプで実施すべきことを指示してくれるので、落ち着いてそれに従う。
- ②電極パッドを貼り付け、「みなさん離れて!!」と注意を促し誰も傷病者に触れていないことを確認する。
- ③AEDが電気ショックの必要があると判断した場合は「ショックが必要です」などの音声メッセージが流れ、自動的に充電が始まります。

- ④充電が完了すると「ショックを行います。みなさん、離れて!!」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認し、ショックボタンを押す。
- ⑤電気ショックが完了すると「直ちに胸骨圧迫を開始してください。」などの音声メッセージが流れるので、これに従って直ちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開する。
- ⑥胸骨圧迫30回、人工呼吸2回の組み合わせを続ける。

防災



毎日の暮らしの中でのちょっとした心構えの積み重ねが「いざという時」に大きな力になります。

地震の対処法

地震はいつ起こるか分かりません。そのためには、日頃から身を守る心がけをしておきましょう。

地震発生

1～2分

- ▶ 揺れを感じたら、落ち着いて自分の身を守る
- ▶ 揺れがおさまったら、火元を断つ
- ▶ ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する



3分

- ▶ 火元を確認、出火していたら初期消火
- ▶ 家族の安全を確認
- ▶ 靴をはく
(ガラスの破片などから足を守る)
- ▶ 非常持出品を手近に用意する
- ▶ 山・がけ崩れの危険が予想される地域はすぐ避難



5分

- ▶ 隣近所の安全を確認
- ▶ 余震に注意
(大きな地震の後には余震が発生する)
- ▶ ラジオなどで情報を確認
- ▶ 電話はなるべく使わない
- ▶ 家屋倒壊などの恐れがあれば避難の準備をする



5～10分

- ▶ 避難する前に、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす
- ▶ 自宅を離れるときには、行き先を書いたメモを目立つ場所に残す



津波発生時の行動



1. 地震の大きさと自己判断しない

1896年の明治三陸地震津波では沿岸での震度は3程度でしたが大津波が押し寄せています。津波災害が予想される地域では、小さい揺れでも、揺れを感じなくても、避難を最優先にしましょう。

2. 避難に車を使わない

車による避難は渋滞を引き起こし、一刻を争う津波からの避難は危険が伴います。東日本大震災でも、車での避難で渋滞に巻き込まれ、津波で多数の人が命を落としてしまいました。基本的に徒歩で避難しましょう。

3. 「より早く」・「より高く」

津波が起こる可能性がある場合は、直ちに高台の方へ避難してください。高台への避難が困難になった場合には、近くの津波避難ビルや高いビルに避難しましょう。



もしもの時は

大雨・洪水時の注意



1. 大雨・洪水等の注意報と警報について

- ①大雨注意報 1時間の雨量が40mm以上
土壌雨量指数基準133
- ②大雨警報 1時間の雨量が60mm以上
土壌雨量指数基準190

※洪水によって災害が起こる恐れがある時は洪水注意報が発表され、重大な災害の恐れのある時は洪水警報が発表されます。

2. 傾斜地・がけ近くは土砂災害に注意

「小石がパラパラ落ちる」「地面にひび割れができる」「斜面から濁った水が流れでている」等を発見したら注意しましょう。また、避難勧告がでたらすぐに避難してください。

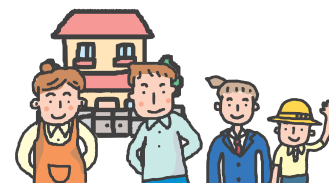
宜野湾市AEDマップ

宜野湾市消防本部では、市内のAED設置施設を表記したAEDマップをホームページ上で公開しています。
詳しくは右記QRよりご覧ください→



家の危険箇所をチェック

地震など大きな災害に直面したときに備えて、普段から予防策を考えておきましょう。



もしもの時は

屋内 をチェック

□ 寝室に倒れやすい家具を置かない



寝ている場所に家具が倒れてこないように、背が高い家具は配置に気をつけよう。

□ 家具の転倒や落下を防止する

家具の転倒防止のため、固定金具などで家具と壁、天井を固定する。家具と壁の間のすきまをなくし、家具の上には、落ちそうなものを置かないように気をつけよう。

□ 要配慮者のいる部屋に倒れやすい家具を置かない

子どもや高齢者、障がい者などの避難をスムーズにするため、避難の妨げになりそうな、倒れやすい家具は置かないようにしよう。

□ 出入り口や通路に物を置かない

安全に通行できるように、玄関や通路には倒れやすいものを置かないようにしよう。



屋外 をチェック

□ 木の枝

折れそうな枝はないか、確認しておこう。



□ ベランダ

飛ばされて危険な物は置かないように注意しよう。

□ 屋根

屋根瓦のひび割れ、ズレ、はがれなどを補修し、瓦が落ちないようにしておこう。

□ 窓ガラス

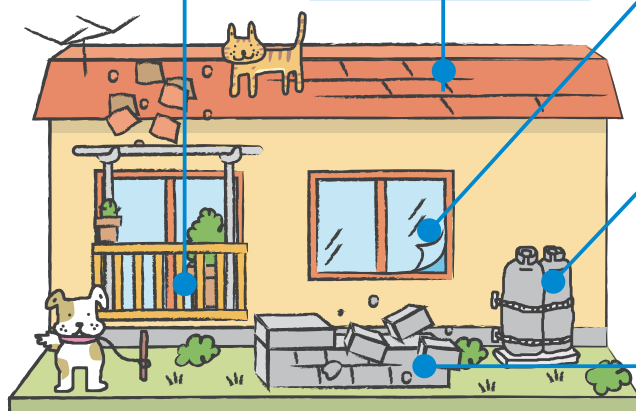
飛散防止フィルムを貼って、割れたガラスが飛び散るのを防ごう。

□ ガスボンベ

転倒防止のため、しっかりした土台の上に置き、鎖などで固定しておこう。

□ ブロック塀

倒壊防止のため、土中にしっかりした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは補強し、ひび割れや傾きがあれば補修しておこう。



非常時持ち出し品チェックリスト

いざというとき困らないために、非常持ち出し品を揃えておきましょう。
家族構成を考慮して、各家庭に必要な物を加えましょう。

□ マッチやライター

ガス切れや湿気に注意。
防水マッチも市販されている。



□ 医療品等

胃腸薬、消毒液、包帯、
持病の薬・お薬手帳など。



□ ろうそく

水にぬれない様にビニール袋に保管する。

□ 懐中電灯・電池

夜間、すぐに手の届く場所に。
予備の電池は少し多めに。



□ 食料品

カップ麺、乾パン、缶詰、
チョコレートなど。



※赤ちゃんのいる家庭は粉ミルク、ほ乳瓶
なども。

□ 衣類・運動靴

下着・雨具・ジャンパー・タオルなど。



□ ヘルメット・軍手

落下物や飛来物から頭を保護するもの。
ガレキの撤去や救助に、厚手のものを用意。



□ 缶切り

多機能のものが便利です。



□ 貴重品

現金、通帳、印鑑など。



□ 寝具

寝袋やサバイバルシートなど。



□ ラジオ

情報収集に欠かせない。
電灯と一体型のものも便利。



□ 飲料水

1人1日3リットルが目安。



もしもの時は



不発弾について

不発弾を発見したら速やかに、**宜野湾警察署**または**中城海上保安部**(海中の場合)までご連絡ください。
また、爆弾や砲弾などが埋められた場所について情報をお持ちの方は、**宜野湾警察署**までご連絡ください。
沖縄県においては、新築・建て替えを予定している個人や事業者を対象に「建築予定地の磁気探査費用」を支援(補助)しています。



災害が発生したときの☎緊急連絡先

災害トラブルに迅速に対応できるように適切な問合せ先のご確認をお願いします。

○宜野湾市役所

防災対策	市民防災室	☎098-892-3151
水道関係トラブル	水道施設課	☎098-892-2118
下水道関係トラブル	下水道施設課	☎098-892-4156
道路関係トラブル	土木課	☎098-893-4223
ゴミに関すること	環境対策課	☎098-893-4140

○電気・けが・事故など

停電など	沖縄電力	☎0120-586-704
火災・救急など	消防署	☎119
事故・信号機の故障など	警察署	☎110

○防災ひとくちメモ

！自宅や近所の『側溝や排水溝』の掃除をして浸水を防ぎましょう。

※側溝のつまりが浸水原因になることがとても多いです。

！避難とは**難を避けること**、つまり**安全を確保すること**です。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

！豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。



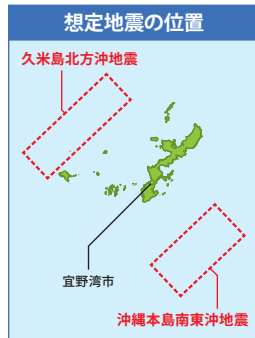
「宜野湾市 津波・土砂災害ハザードマップ」は、宜野湾市に影響の大きい想定地震によって、津波が発生した場合に想定される浸水の深さを色分けした津波浸水想定区域と、土砂災害警戒区域を示した地図に、避難場所や避難経路などの防災関連情報を加えたものです。

災害に備えて、浸水被害や土砂災害の危険性が高い場所、状況を確認しましょう。

なお、地図に示している危険箇所以外でも災害が起こる可能性がありますので、いざというときには、正確な情報を入手して早めの避難を心がけてください。



もしもの時は

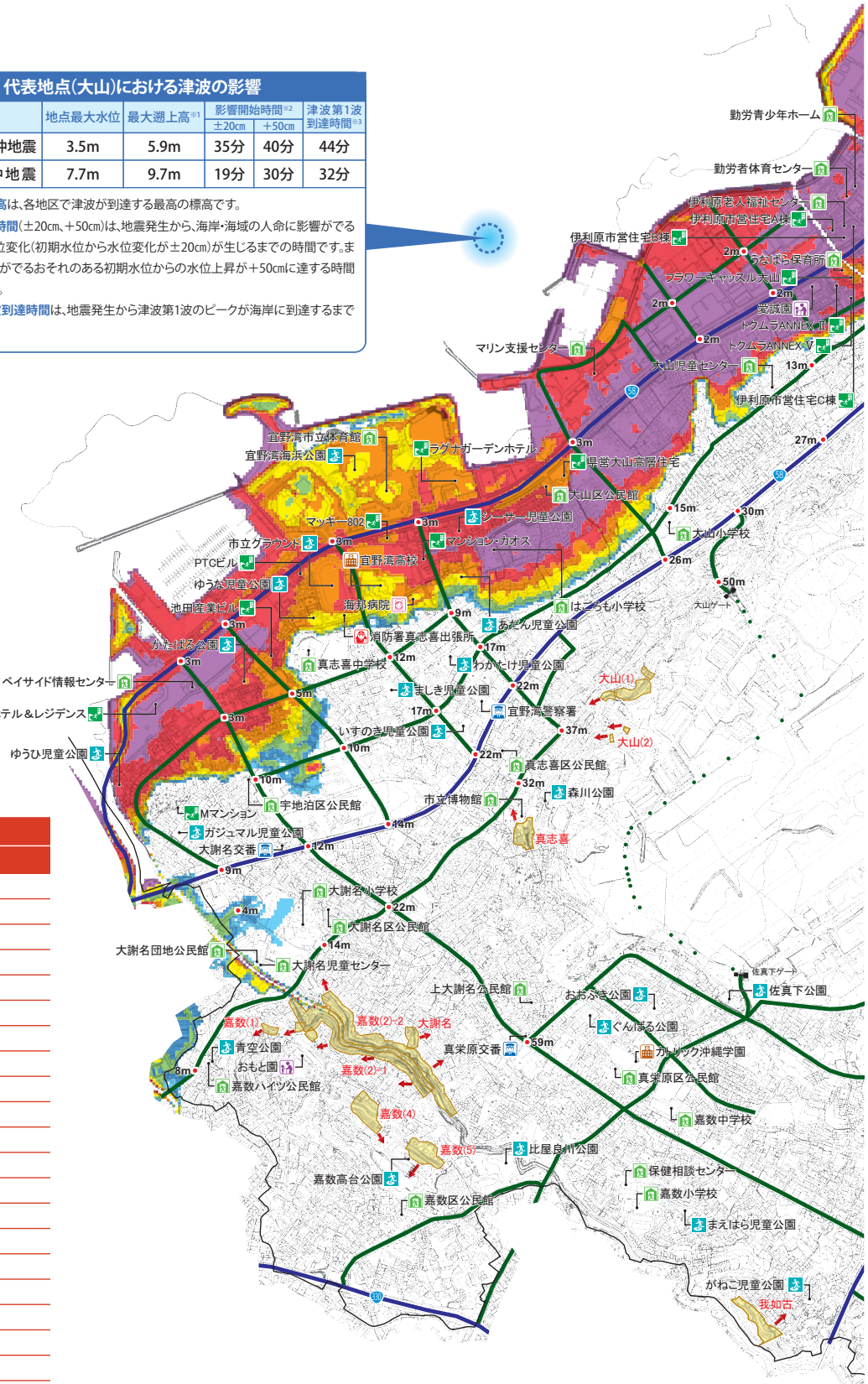


代表地点(大山)における津波の影響					
想定地震	地点最大水位	最大遡上高 ^{※1}	影響開始時間 ^{※2}		
			±20cm	±50cm	津波第1波到達時間 ^{※3}
沖縄本島南東沖地震	3.5m	5.9m	35分	40分	44分
久米島北方沖地震	7.7m	9.7m	19分	30分	32分

※1 ▶最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高です。
 ※2 ▶影響開始時間(±20cm、±50cm)は、地震発生から、海岸・海域の人命に影響がでるおそれのある水位変化(初期水位から水位変化が±20cm)が生じるまでの時間です。また、避難への影響がでるおそれのある初期水位からの水位上昇が±50cmに達する時間也表示しています。
 ※3 ▶津波第1波到達時間は、地震発生から津波第1波のピークが海岸に到達するまでの時間です。

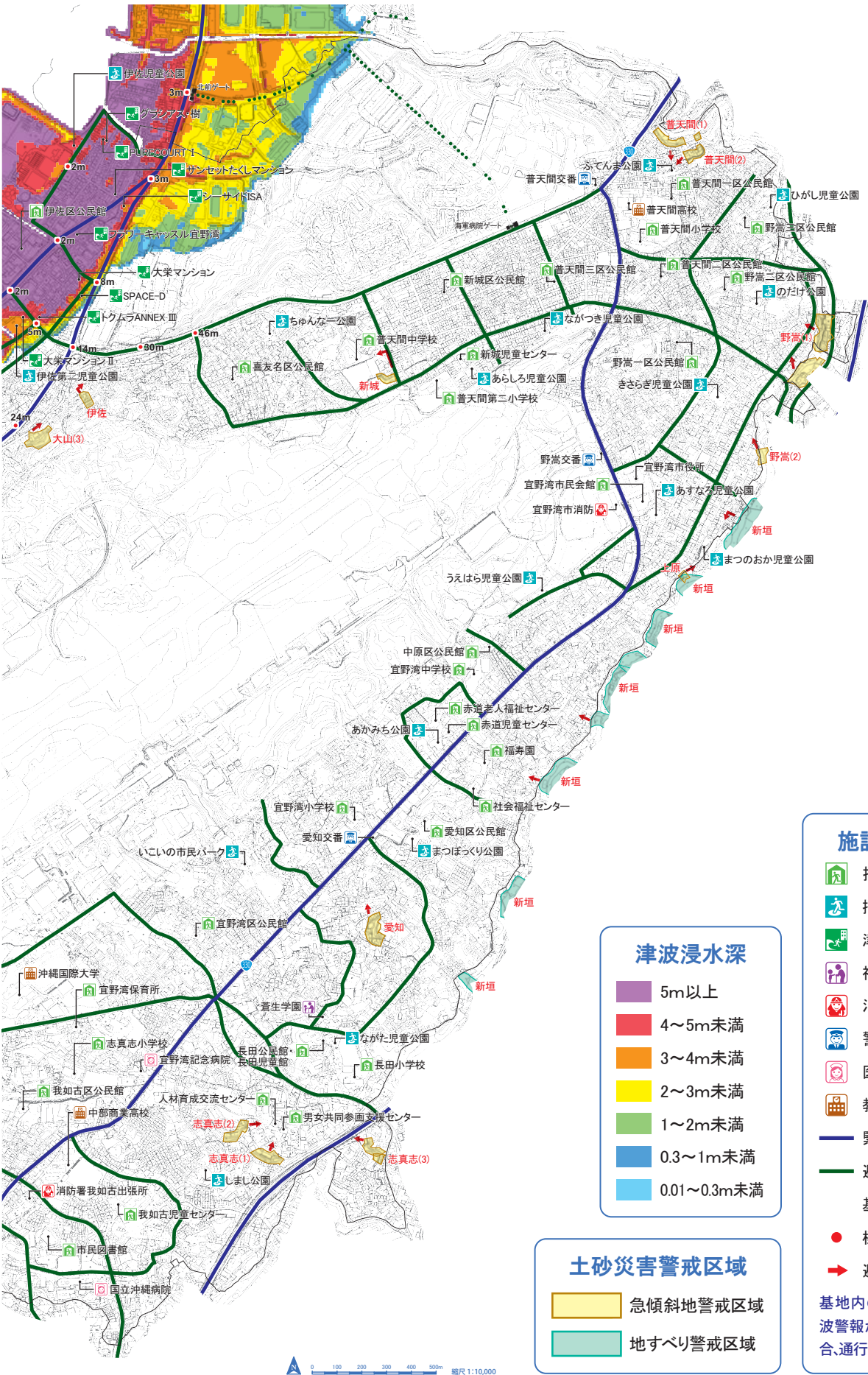
○土砂災害警戒区域一覧

急傾斜地の崩壊		
No.	箇所名	所在地
1	野嵩(1)	野嵩一丁目、三丁目
2	野嵩(2)	野嵩一丁目
3	普天間(1)	普天間一丁目
4	普天間(2)	普天間一丁目
5	新城	新城二丁目
6	伊佐	伊佐一丁目
7	大山(1)	大山二丁目
8	大山(2)	大山二丁目
9	大山(3)	大山一丁目
10	真志喜	真志喜一丁目
11	大謝名	大謝名三丁目
12	嘉数(1)	嘉数四丁目
13	嘉数(2)-1	嘉数四丁目
14	嘉数(2)-2	大謝名四丁目
15	嘉数(4)	嘉数一丁目
16	嘉数(5)	嘉数一丁目
17	我如古	我如古四丁目
18	志真志(1)	志真志一丁目
19	志真志(2)	志真志一丁目
20	志真志(3)	志真志二丁目
21	愛知	愛知三丁目
22	上原	上原二丁目
地すべり		
No.	箇所名	所在地
1	新垣	野嵩一丁目～赤道二丁目





もしもの時は



津波浸水深

- 5m以上
- 4～5m未満
- 3～4m未満
- 2～3m未満
- 1～2m未満
- 0.3～1m未満
- 0.01～0.3m未満

土砂災害警戒区域

- 急傾斜地警戒区域
- 地すべり警戒区域

施設等凡例

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 津波避難ビル
- 福祉施設
- 消防署
- 警察・交番
- 医療機関
- 教育機関
- 緊急輸送路
- 避難路
- 基地内の避難路
- 標高点
- 避難方向

基地内の避難路は、津波警報が発令された場合、通行可能となります。